

2019年9月3日

令和元年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修（情報コース）参加報告書

電気電子情報系班

青田広史

## 1.目的

職務遂行において必要となる様々なデータの集計・分析手法と分析結果を将来予測につなげる知識と技術を習得すること。

## 2.期間

2019年8月28日（水）～8月29日（木）

## 3.場所

国立大学法人 岐阜大学サテライトキャンパス

## 4.内容

### ○BI ツールを用いたデータ分析

BI ツール（PowerBI）を使用し、各大学の出身都道府県別入学者数の分析を行った。

### ○AI ツールを用いたデータ分析

AI ツール（Azure Machine Learning Studio）を使用し、岐阜大研究者を20のグループへ区分を行った。

### ○施設見学

ミライデータセンターパークというデータセンタの見学を行った。データセンタのある大垣市は東京と大阪の間にあり、また内陸に位置するため、データセンタの立地条件としては最適とのこと。実際に、NTTなどのデータセンタも隣接されていた。地下から汲み上げた地下水をサーバールームの冷却に使用し、放出された熱を足湯として利用していた。

## 5.所感

大学では、研究費確保や入学者の確保のため、分析ツールを駆使してデータ分析を行い、情報戦略に役立てているとのこと。本校の受験者データ、オープンキャンパス、体験授業、県内高校のデータなどを用いて分析を行ってみたいと感じた（すでに行われているかもしれないが）。ただし、各ツールを扱うにはそれなりのノウハウが必要で、今回の研修ではさわり程度しか扱えなかったため、もう少し独習する必要があると感じた。